

## 5月3日 憲法記念日用宣伝例

2014年5月2日 日本共産党埼玉県委員会

ご近所のみなさん、日本共産党の〇〇〇〇です。この場をお借りして、日本共産党の政策について話をさせていただきます。しばらくの間のご協力をよろしくお願ひします。

本日、5月3日は、憲法記念日です。侵略戦争の教訓の上に、「二度と戦争はしない」と世界に誓った**平和憲法が施行されて67年目**になります。

安倍内閣は、憲法解釈の変更で「海外での武力行使」に道を開こうとしています。**2001年のアフガニスタン戦争、2003年のイラク戦争**のときには、「武力の行使をしてはならない」「戦闘地域には行かない」という「歯止め」がかかっていました。

集団的自衛権が行使できるとなれば、「歯止め」がはずされ、日本の自衛隊が戦闘地域にまで行って、アメリカと一緒に戦争ができることになってしまいます。

戦後69年間、平和憲法、憲法9条があったからこそ、日本は、ただの一人も、他国の兵士の命を奪うことがなかったのです。**この「歯止め」がはずれたら、日本も「殺し、殺される」国になってしまふのです。**

集団的自衛権行使を認めることは、**事実上、憲法9条を削除することと同じ**です。いま、安倍内閣は、国民の批判の広がりを恐れて、「集団的自衛権の行使といっても、無制限ではない。必要最小限度のものに限定して行使する」としています。しかし、一度「歯止め」がはずされ、「武力行使に参加」をすれば、**無制限に解釈が広がります**。自民党の幹事長は、「自衛隊が地球の裏側まで行くこともありうる」と公言しています。

「海外で戦争する国」への暴走を許すわけにはいきません。

安倍政権は、国会での多数を力に、まず憲法9条の明文改憲を狙いました。しかし。国民世論に押され、**うまく進みませんでした**。そこで、憲法96条の改憲手続きを緩和しようとしたが、これも「邪道だ」の声が起こり、頓挫しました。

そこで、解釈改憲で集団的自衛権行使容認を進めようとしているのです。日本を「戦争する国」にするかどうかを決めるのは、**主権者である国民の世論と運動**です。

日本共産党は、政治的立場の違いを超えて、世界に誇る日本の宝、憲法9条を守るために、ともに力をつくすことを呼びかけています。

日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」の購読をお願いして、この場からの訴えとします。ご協力ありがとうございました。